

平成 29 年 3 月 8 日
第 30 号

学校教育目標

みどりの風



豊かな心を持ち、共に考え、自ら高めていく子ども

縦割りグループの進化

校長 六郷 博志

昨年 4 月、井川小学校に来て一番驚いたのが、全校で縦割り清掃をしようと計画していたことです。実際にやっている学校の評判を聞くと、時間ばかりかかってきれいにはならないし、子どもたちも成長するわけではないと否定的な意見がほとんどでした。案の定、4 月、5 月は時間内に終わることができない班が多く、5、6 年生の言うことを聞かない下級生もたくさんいて、だらしない掃除の状態が続きました。

もうこれは止めた方がいいのではと思い始めて 3 か月くらいが立つと、少し様子が変わってきました。一番大きな変化は上級生が上手に下級生を指導できるようになったことです。なだめたりすかしたりしながら、かんしゃくを起こさずに我慢強く話をしている 6 年生をたくさん見ることができました。そして、班の雰囲気も温かく柔らかいものに変化し現在もそれは進化しており、あの時止めなくてよかったと今更ながら思っています。

教育の成果はすぐには出ない—縦割り清掃で改めて気づかされた今年度の出来事でした。

学校目標のアンケート、ありがとうございました

学校教育目標(新)
目標をもち課題を解決しようとする子ども

深く考える子ども

進んで活動する子ども

おもいやりをもつ子ども



4 月から新しい学校教育目標とすることについて、アンケートにご協力いただきありがとうございました。「たくさんの人と接して学んだり、切磋琢磨する経験が必要」「新しい目標は一步進んだ内容になっていて必ず役立つはず」「目標の部分で、何に対しての目標なのかははっきりさせるとわかりやすいのでは」など、建設的なご意見をたくさんいただきました。

みなさんのご意見をもとに、職員会議で正式に来年度の目標を左のように決定しました。どうぞこれからもご支援をよろしくお願いいたします。

栄光の記録

◇ 湖東地区消防本部管内防火作文・標語コンクール(2月24日)

作文の部	優秀賞	工藤	〇〇(5年)	「あのとのおそろしさ」
	佳作	雄鹿	〇〇(5年)	「けがをして知った消防士の仕事」
標語の部	優良賞	伊藤	〇〇(5年)	「消しましょう あとでじゃなくて 今ここで」



個人写真を掲載しました



◇ 第 19 回秋田県小学校放送コンテスト(2月7日)

アナウンス部門	入選	半田	〇〇(6年)	湊	〇〇(6年)
	佳作	伊藤	〇〇(5年)	畠山	〇〇(5年)
		森田	〇〇(5年)	八柳	〇〇(5年)
		工藤	〇〇(5年)	湊	〇〇(6年)
		幸坂	〇〇(6年)	小野	〇〇(6年)
		畠山	〇〇(5年)		



個人写真を掲載しました

朝日小学生新聞に〇〇君(4年)の記事が紹介されました

2月27日付けの朝日小学生新聞(全国版)に、こども編集長として4年生の〇〇〇〇君が指令して取材された記事「透明マントは本当にできるの?」が掲載されました。これはこども編集長が不思議に思ったり調べてみたいことを記者に指令して、謎を追究する過程を書いたものです。今回の説明は東京工業大学の雨宮先生がしてくれましたが、大変興味深いインタビューになっていました。ぜひご一読ください。

3

2017年(平成29年)2月27日 月曜日

朝日小学生新聞

(第三四編集部)

未来を見に行こう

金田 規編

指令

透明マントは本当にできるの？

今回は

東京工業大学助教の雨宮智宏さん

取材しました。

中道幸大くん(4年)
秋田県角田市立井原小

こども編集長
本日の

●電磁波の名前と波長

目に見える光

電磁波

●「透明」にするしくみ

イラスト・若泉祥子

こども編集長の感想

「透明マント」が実際に作ると思えば作ることができると知り、とてもおどろきました。でも、メタマテリアルを数値値でなくても、アリくらいしかかかせないことは、少し残念です。将来、ばく自身が透明マントを作れるようになった時、戦争のためではなく、平和のために使えるといいなと思いました。地震などの対策で、「透明マント」の発想がさらに活用されることを期待しています。

地震対策に役立てられるかも

「透明マント」が実現したら、地震対策にも役立てられるかもしれません。地震が起きた時に、建物や人々が透明になることで、地震の揺れを感知し、避難する時間が増えるかもしれません。また、地震の揺れを感知して、建物が自動的に揺れを吸収する仕組みも考えられます。透明マントの発想は、地震対策だけでなく、さまざまな分野で活用される可能性があります。

透明マントのイメージ図。
こんな透明マントが実現するの、まだまだ先のことになりそうです。

ペンドリーさんの実験をもとに開発された、マイクロ波の「透明マント」。金メ製のコイルを並べています。

朝日小学生新聞
54
SINCE 1967

理論は完成、作るのは難しい

★ 軍事利用されないかな？

レーダーにより感知されにくい、ステルス戦闘機の開発などに応用される可能性はあります。

の科学者ジョン・ペンダーの論文は、2006年に発表された。透明マントの原理は、光の波長を制御することによって、光が物体を透過するように見えるようにする。透明マントの原理は、光の波長を制御することによって、光が物体を透過するように見えるようにする。透明マントの原理は、光の波長を制御することによって、光が物体を透過するように見えるようにする。

は、1000万の「透明マント」を製造する必要がある。透明マントの原理は、光の波長を制御することによって、光が物体を透過するように見えるようにする。透明マントの原理は、光の波長を制御することによって、光が物体を透過するように見えるようにする。